

令和7年度下半期 瑞穂町下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和7年度の汚水処理の状況は下半期の処理（有収）水量が1,779,850m³、年間有収水量は3,554,169m³（前年度比0.1%減）となりました。

収益的収入の主な収入である下水道使用料の調定額は下半期が222,980千円、決算額は445,604千円（前年度比0.4%増）となりました。また、一般会計からの負担金（雨水処理負担金と汚水処理負担金）は下半期が45,780千円、決算額は375,780千円（前年度比27.2%増）となりました。

収益的支出の主な支出として、業務費の多摩川上流流域下水道維持管理負担金は下半期が110,981千円、決算額は149,725千円（前年度比8.1%減）、減価償却費は下半期に全額執行し、決算額は649,422千円（前年度比0.2%増）、支払利息及び企業債取扱諸費は下半期が26,153千円、決算額は45,922千円（前年度比55.2%増）となりました。

資本的収入の主な収入として、企業債は下半期が35,000千円、決算額は579,000千円（前年度比12.0%減）となりました。

資本的支出の主な支出として、管渠整備費の長岡1号幹線布設工事業務は、下半期に全額執行し、決算額が863,644千円（前年度比51.3%減）、企業債償還金は下半期が63,113千円、決算額は125,743千円（前年度比0.6%減）となりました。

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

取 入				支 出			
区分	予算現額	執行額	執行率	区分	予算現額	執行額	執行率
営業収益	559,737	551,792	98.6%	営業費用	1,328,730	1,224,329	92.1%
下水道使用料	447,662	445,605	99.5%	管渠費	294,684	219,801	74.6%
他会計負担金	111,764	105,917	94.8%	ポンプ場費	46,902	44,556	95.0%
その他営業収益	311	270	86.8%	業務費	206,087	179,497	87.1%
営業外収益	872,149	1,031,085	118.2%	総係費	131,634	131,053	99.6%
受取利息及び配当金	1,069	1,214	113.6%	減価償却費	649,423	649,422	100.0%
他会計負担金	264,016	269,863	102.2%	営業外費用	45,998	45,922	99.8%
補助金	20,667	20,518	99.3%	支払利息及び企業債取扱諸費	45,998	45,922	99.8%
長期前受金戻入	476,615	476,617	100.0%	予備費	3,020	0	0.0%
消費税及び地方消費税還付金	109,782	261,793	238.5%	予備費	3,020	0	0.0%
雑収益	0	1,080	—				
合計	1,431,886	1,582,877	110.5%	合計	1,377,748	1,270,251	92.2%

※予算現額には、補正予算による増減、予算の流用・充当を含む。

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

取 入				支 出			
区分	予算現額	執行額	執行率	区分	予算現額	執行額	執行率
企業債	1,230,400	579,000	47.1%	建設改良費	1,598,672	968,719	60.6%
企業債	1,230,400	579,000	47.1%	管渠整備費	1,559,996	930,045	59.6%
他会計出資金	11,131	11,131	100.0%	多摩川上流流域下水道建設負担金	29,104	29,103	100.0%
他会計出資金	11,131	11,131	100.0%	多摩川上流流域下水道改良負担金	9,572	9,571	100.0%
補助金	312,154	312,154	100.0%	企業債償還金	125,744	125,743	100.0%
国庫補助金	208,103	208,103	100.0%	企業債償還金	125,744	125,743	100.0%
都補助金	104,051	104,051	100.0%				
負担金	944	969	102.6%				
受益者負担金	127	128	100.8%				
国庫負担金	817	841	102.9%				
固定資産売却代金	5,942	5,942	100.0%				
固定資産売却代金	5,942	5,942	100.0%				
合計	1,560,571	909,196	58.3%	合計	1,724,416	1,094,462	63.5%

※予算現額には、補正予算による増減、予算の流用・充当及び前年度からの継続費通次繰越額を含む。

令和8年度 瑞穂町下水道事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和8年度	令和7年度	比較	区分	令和8年度	令和7年度	比較
営業収益	658,209	544,184	114,025	営業費用	1,435,774	1,240,657	195,117
下水道使用料	441,418	447,662	△ 6,244	管渠費	311,903	217,675	94,228
他会計負担金	216,560	96,211	120,349	ポンプ場費	35,558	33,390	2,168
その他営業収益	231	311	△ 80	業務費	262,221	207,269	54,952
営業外収益	864,815	880,066	△ 15,251	総係費	120,420	133,130	△ 12,710
受取利息及び配当金	478	60	418	減価償却費	705,672	649,193	56,479
他会計負担金	338,136	265,019	73,117	営業外費用	84,452	49,484	34,968
補助金	7,350	15,365	△ 8,015	支払利息及び企業債取扱諸費	84,452	49,484	34,968
長期前受金戻入	498,856	475,509	23,347	予備費	5,000	5,000	0
雑収益	15	0	15	予備費	5,000	5,000	0
消費税及び地方消費税還付金	19,980	124,113	△ 104,133				0
合計	1,523,024	1,424,250	98,774	合計	1,525,226	1,295,141	230,085

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和8年度	令和7年度	比較	区分	令和8年度	令和7年度	比較
企業債	282,170	1,467,700	△ 1,185,530	建設改良費	332,308	1,815,357	△ 1,483,049
企業債	282,170	1,467,700	△ 1,185,530	管渠整備費	278,667	1,774,019	△ 1,495,352
他会計出資金	9,802	10,721	△ 919	多摩川上流流域下水道建設負担金	42,113	29,783	12,330
他会計出資金	9,802	10,721	△ 919	多摩川上流流域下水道改良負担金	11,528	11,555	△ 27
負担金	2,806	1,152	1,654	企業債償還金	124,846	125,744	△ 898
受益者負担金	1,925	335	1,590	企業債償還金	124,846	125,744	△ 898
国庫負担金	881	817	64				
補助金	0	312,154	皆減				
国庫補助金	0	208,103	皆減				
都補助金	0	104,051	皆減				
合計	294,778	1,791,727	△ 1,496,949	合計	457,154	1,941,101	△ 1,483,947

2 事業の経営方針

瑞穂町は、昭和49年度から下水道事業に着手し、令和7年度末時点で下水道普及率は、98.2%となっています。しかし、未普及地域への下水道整備、都市化の進展や浸水被害への対応、施設の老朽化や耐震性など新たな課題に直面しています。このような中、将来にわたり安定的に公共下水道サービスを提供していくため、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、複式簿記・発生主義に基づく公営企業会計方式による経理を開始しました。

このことにより、経営の健全化、効率化を図りながら、さらなる経営基盤の強化を目指します。

令和8年度予算における取組は、下水道施設の維持管理（収益的収支）として、①ストックマネジメント（管路）【実施方針見直し及び計画策定（第1期）】、駒形汚水中継ポンプ場耐震補強設計委託、浸入水詳細調査を行います。②管渠内清掃を行うとともに、異常箇所等の補修を行います。③駒形汚水中継ポンプ場のポンプ運転管理、施設設備等の点検を行います。④下水道使用料改定支援業務を行います。

また、下水道施設整備（資本的収支）として、①衛生的で快適な生活環境を図るため、汚水管渠布設工事を行います。②多摩都市モノレール関連事業である新青梅街道拡幅に伴う下水道管渠移設工事業務委託を行います。

引き続き、下水道事業の財源として、下水道使用料、補助金、下水道事業受益者負担金、企業債などの確保に努めた経営を行います。また、安定した財源確保のため、下水道使用料を改定する必要があり、公営企業会計に基づく健全な下水道経営を推進し、より一層の行政サービスの向上に努めます。